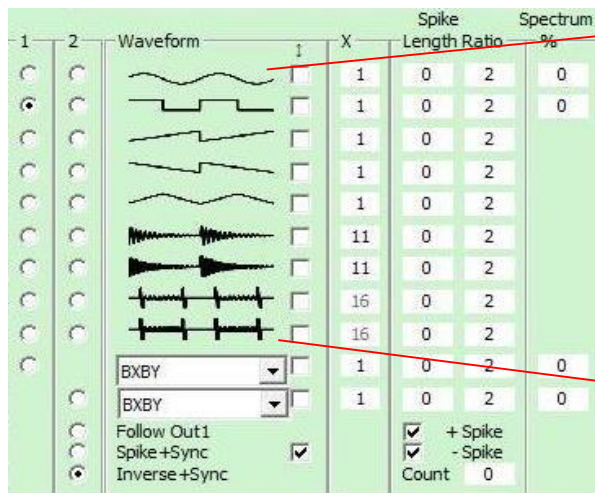


波形 (Waveform)



正弦波 **sin wave**
方形波 **square wave**
のこぎり波 **sawtooth**
逆のこぎり波 **inverted sawtooth**
三角波 **triangle**
減衰正弦波 **damped sinusoidal**
減衰方形波 **damped square**
H爆弾正弦波 **Hbomb sinusoidal**
H爆弾方形波 **H-bomb square**

全ての波形の元は正弦波(**sin wave**)です。
方形波、のこぎり波、三角波、その他の派生波形もすべて、フーリエ級数展開により高調波を多く含む正弦波の集まりに分解できます。

微生物の殺菌に適した波形、体の器官の活性化による治癒や解毒に適した波形、痛みをとるのに適した波形や、リラックスや睡眠、脳の活性化、その他の目的に適した波形があります。

大きく分けると、**Killing** と **Healing** となります。

微生物の殺菌(**Killing**)に適した波形の特徴
周波数の高い(エネルギーの高い)波が適しています。
波形的には高調波成分を多く含む波形が適しています。
それで、高調波を多く含む、方形波、のこぎり波、逆のこぎり波、減衰正弦波、減衰方形波、**H爆弾正弦波**、**H爆弾方形波**や、パルスなどを活用します。

微生物が波形パターンに慣れて耐性を付けることがないように急激な変化(急な立ち上がりや立下り)のある波形を考案するとよいと思います。

また同じ目的で周波数や振幅(電圧)のぐらつき(**wobbling**)を活用することもできます。

方形波の特徴は、**3, 5, 7, ...** のような奇数の高調波を持ちます。
立ち上がり、立下りは理論上**0**秒なので、微生物に急激なショックを与えることができます。同時にその特徴は、体の器官を刺激して活発にすることもできます。方形波は**killing, healing**双方で活用できます。

Healing(治癒や器官の活性化、解毒など)に適した波形の特徴
正弦波(高調波を含まない)や三角波のようになだらかに変化する波形が良い。方形波も活用できる。

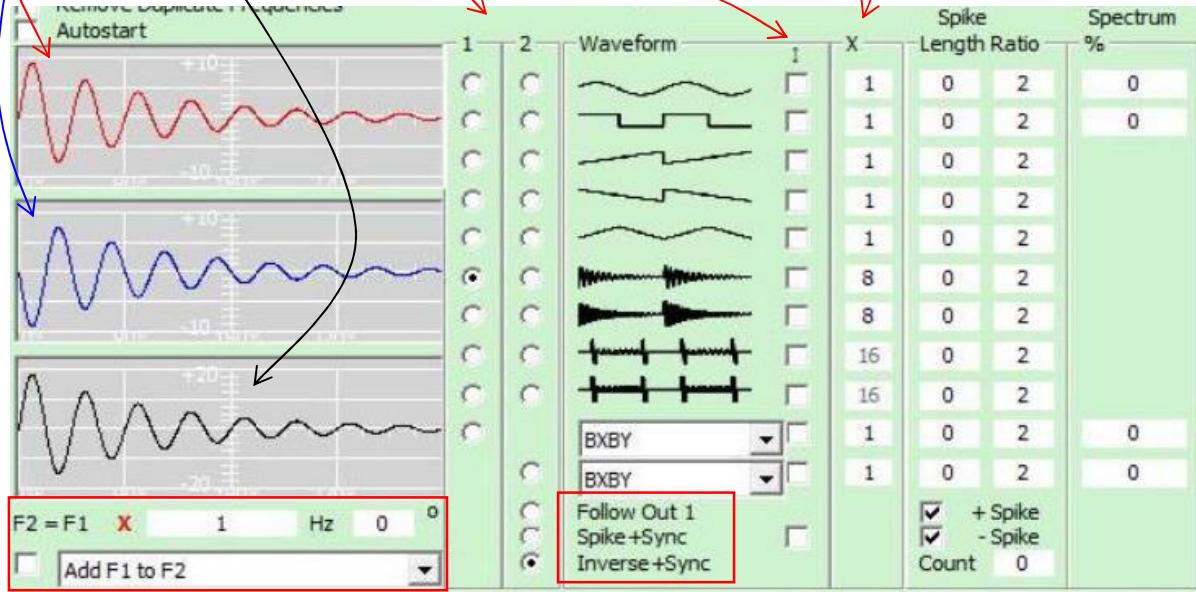
これらの設定を色々変えて、
波形がどのように変化するかを
試してください。

1 Out1の波形選択
2 Out2の波形選択

I 選択波形をInverse+Sync (逆位相同期) にするチェックボックス

× 周波数を整数倍の高調波とする

Out1から出るF1 (周波数1)
Out2から出るF2 (周波数2)
Out1と2の合成周波数(P to P)



Spooky2はF1,F2の2つの周波数を
Out1だけで送れます。

選択項目は、
Add F1 to F2
Modulate F2 Using F1 (AM DSB)
Modulate F2 Using F1 (AM SSB)

位相角は0度で使います。

下の説明を参考に色々試して波形の動き
を観察してください。

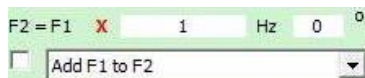
ユーザーマニュアルのAppendix C (付録C
p229)の波形サンプルも参考にしてください。

Follow Out1: F2はOut1と同じ波形にする
Spike+Sync: F2を位相同期でスパイクを使う
Inverse+Sync: F2を逆位相同期にする

BXBY	1	0	2	0
BXBY	1	0	2	0

F1, F2のためのいろいろな波形がコンボボク
スから選択できるようになっています。ためしに
いくつか選んで波形を確認してください。

ここにリストアップされている波形はSpooky2
フォルダーのWaveformsフォルダーの中にあり
ます。既存の波形を編集して独自の波形を作
り名前をつけてWaveformsフォルダーに保存し
活用できます。データをこのコンボボックスに
呼び込む方法は、ファイルメニューの中の
Refresh Waveformsをクリックします。



F2=F1 x (整数)機能を有効にするために、チェックボックスにチェックを入れます。
そして、コンボボックスで生成された高調波の使い方を選びます。

F2=F1を3倍してF1に加える(Add F1 to F2)にすると、F2は、F1+F1の第三高調波となります。その
合成波の波形がOut1とOut2の波形となります。

F1の倍数として2, 3, 5, 7, 11, 64, etcなどの整数を入れます。(方形波は奇数のみを使います。)
Dr. Anthony Hollandによると第11高調波極めて力を発揮するとされています。

スパイク (Spike) の設定

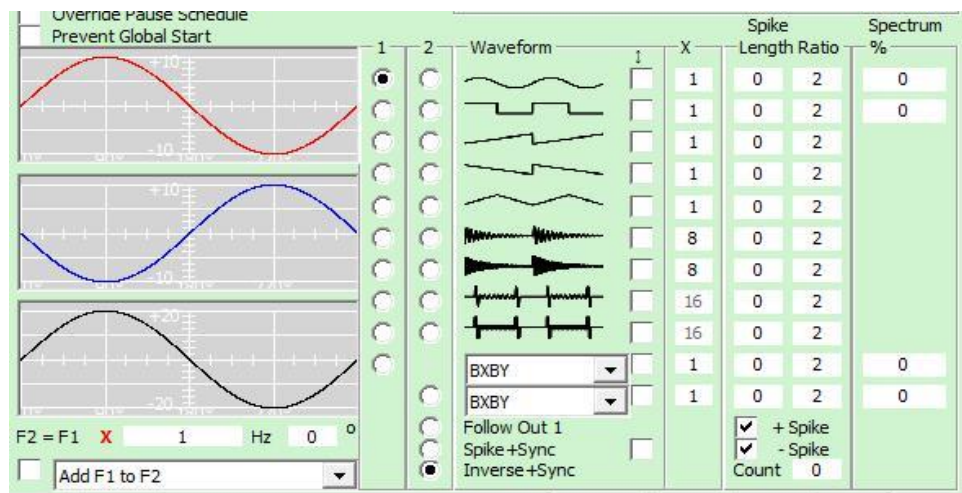
設定項目

Length 長さ: スパイクの幅

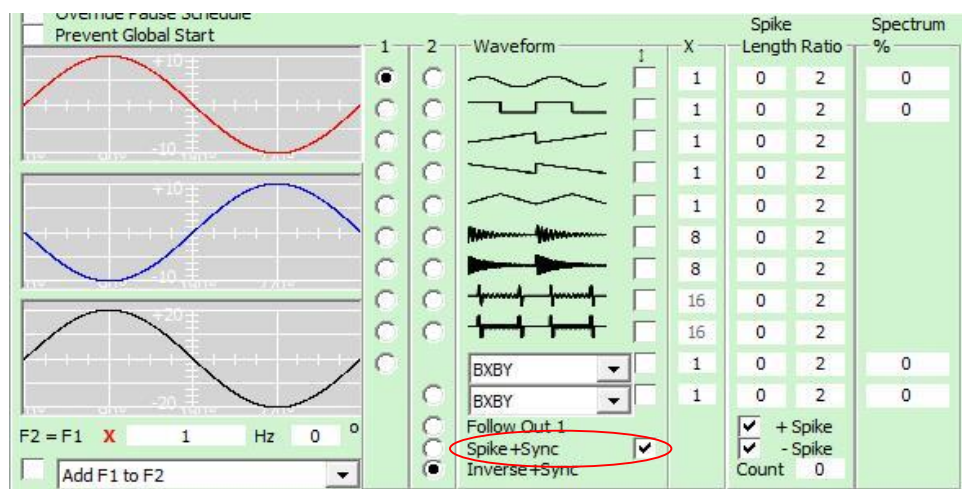
Ratio 割合: 波形の振幅とスパイクの長さの比

Count 数: スパイクの数

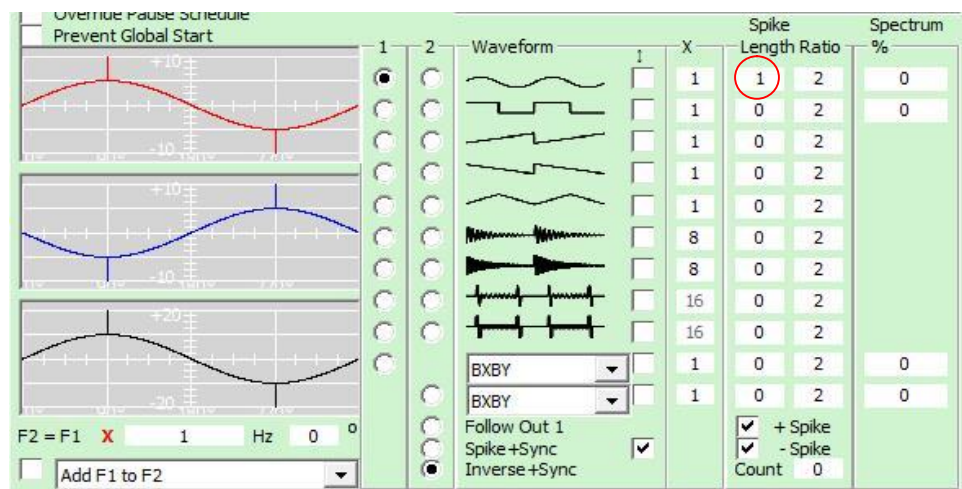
正弦波でそれぞれの設定を変えるとどうなるかを試してみてください。



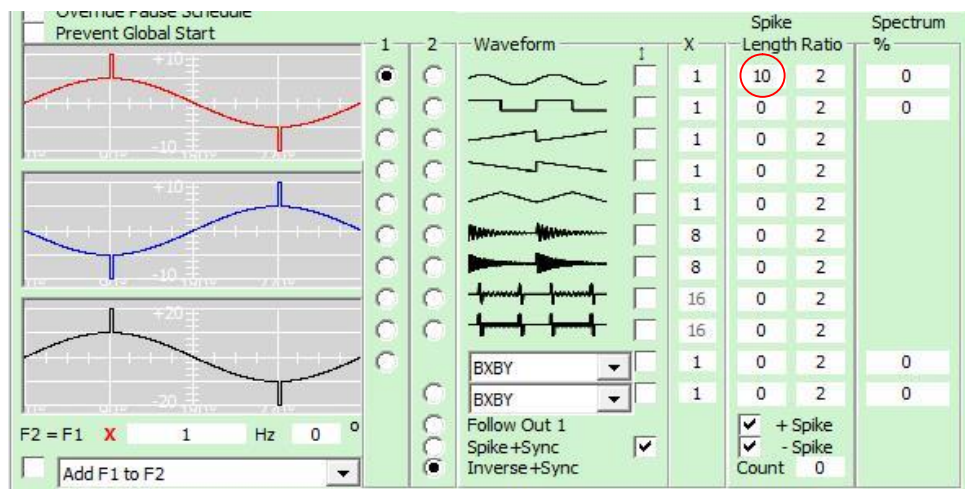
基本となる正弦波



Spike+Synにチェックを入れる。

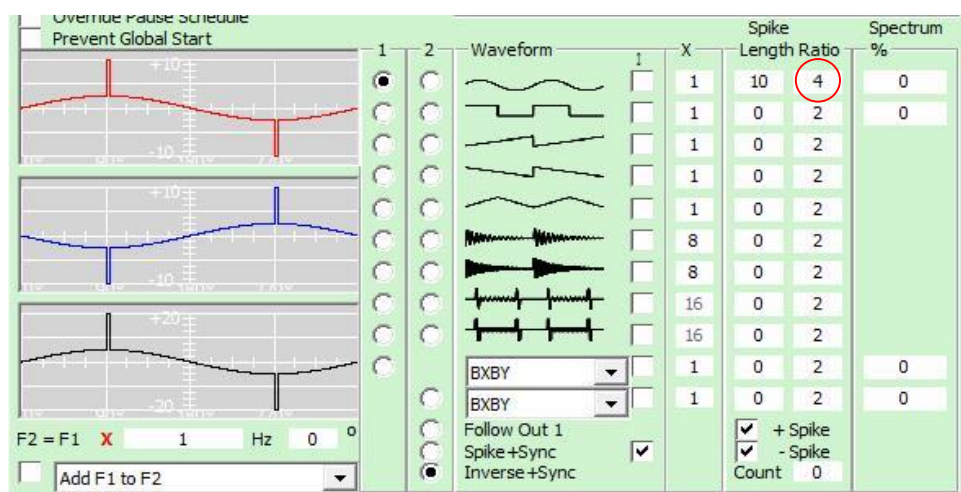


Spike Length(スパイクの長さ)を1にすると、幅が1のスパイクが生じる。



Spike Length (スパイクの長さ) を10にすると、幅が10に拡張します。

スパイク幅が広がることは、**20v**の電圧がそれだけ長く印加されるということです。

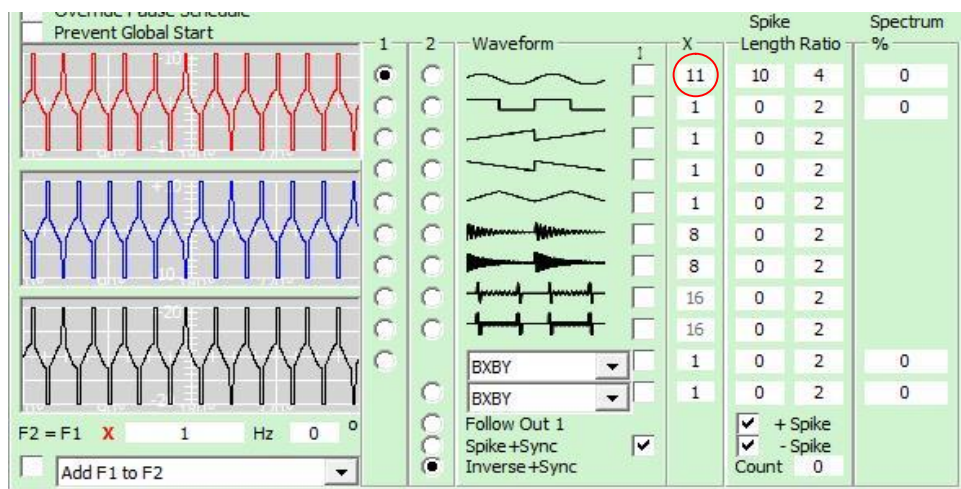


Spike Ratio (スパイクの割合) を4にすると、スパイクの丈が2倍になる。

Spike Ratio (スパイク割合)

Amplitude 20vでスパイク比を4にすると、スパイク電圧は**20v**のピークを保ち、残りの波形は**1/4**の**5v**になります。つまりオリジナル波形が**5v**になると突然**20v**にスパイクが立ち上がるということです。

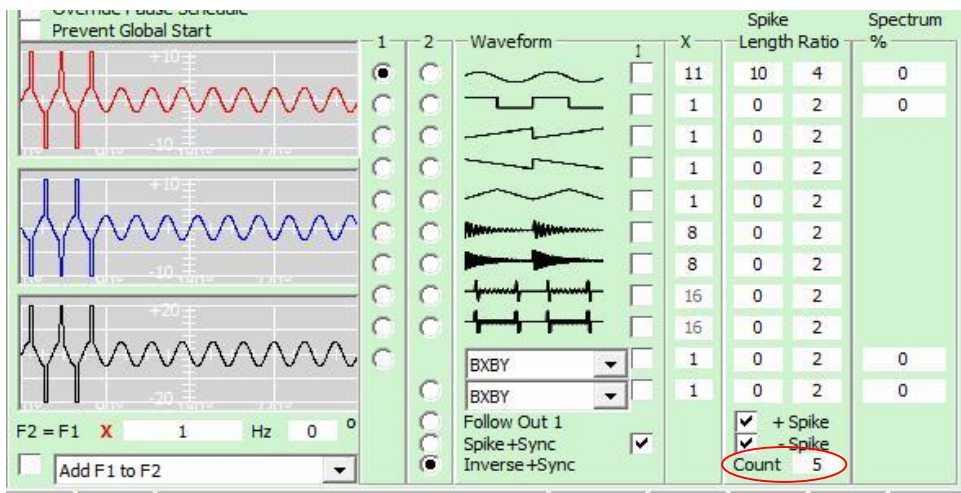
スパイク比を2にすると、スパイク電圧は**20v**のピークを保ち、残りの波形は**1/2**の**10v**になります。



「X」を11にすると、周波数が11倍される。

+Spike は、+領域のスパイク

-Spike は、-領域のスパイク



Spike Count (スパイクの数)を5にすると、5個のスパイクを持つ波形になる。

Spooky2 5M Generator

frequency up to 5MHz, amplitude up to 20Vp-p

周波数レンジ 0-5MHz

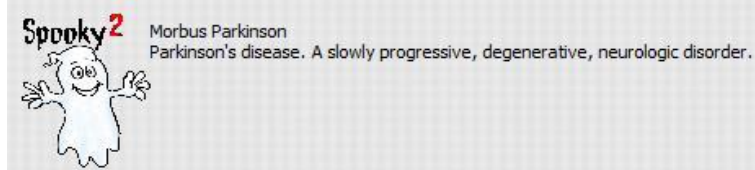
電圧最大振幅 20v(peak to peak)

周波数通倍により周波数レンジは 0-25MHz(25000kHz)まで拡張できます。

1024個の周波数を均一電圧で送れます。(電圧は1024個で等分され、波形の崩れはありません。)

Search	park	Clear		Customize
Dementia Lewy Body	XTRA	140,220,620,7500,2500,40000,87500,150000,375690,519340		
Idiopathic Parkinson's Dis	XTRA	80,350,650,830,9500,115710,354950,355350,368000,398400		
Morbus Parkinson	BIO	813		
Morbus Parkinson	CAFL	33,693,813,5000		
Morbus Parkinson	VEGA	813		
Mycoplasma Fermentans	CAFL	2900,864,790,690,610,484,986,644,254		
Nocardia Asteroides	HC	354950-355350=3600		

Program Options	
Frequency Multiplier	1
Repeat Every Freq	1
Repeat Each Set	1
Repeat Program	0
Dwell Multiplier	1



たとえば、パーキンソン病の周波数を見てみましょう。

Sarch (検索)ボックスに「parkinson」の途中まで打ち込むと幾つかの周波数セットがリストアップされます。(PCの処理能力が遅いと検索も遅くなります。)

Morbus Parkinson BIOには1つの周波数813Hzが出ています。その説明には遅進行性、退化性、神経系不調と書かれています。

813Hzを周波数通倍しMHzレンジにするために1230倍より上にする必要があります。

5000Hzの場合は200倍以上、519340Hzの場合は2倍以上、という具合に高調波を作り出し殺菌に利用します。パーキンソン病は、Lyme病と同じスピロヘータによるものなので、ライム病の周波数も検索してみると良いと思います。

通倍により25MHzを超える周波数は電圧が落ち波形が崩れます。必要であれば、25MHz内に収めるように**Frequency Multiplier**の値を設定すると良いと思います。他のところの周波数通倍機能を活用することもできます。周波数通倍のリミットは25MHzで、その範囲で高調波を利用します。

リモートモードの基本設定

Program Options	
Frequency Multiplier	1
Repeat Every Freq	1
Repeat Each Set	4
Repeat Program	0
Dwell Multiplier	.33

Program Options (プログラム オプション)

Frequency Multiplier (周波数通倍)

Repeat Every Freq (全ての周波数の繰り返し)

Repeat Each Set (各周波数セットの繰り返し)

Repeat Program (プログラムの繰り返し、**0**は無制限に繰り返す)

Dwell Multiplier (**1**はデフォルト値の**180sec**)

Dwellは周波数を適用する時間でデフォルトは**3分(180sec)**です。

周波数セットの繰り返しを**4**にして、**Dwell**を**1/3**にしています。

	Out 1	Out 2	
Duty Cycle	50	50	%
Amplitude	20	20	V
Offset	100	-100	%
Phase Angle	0	0	°

Duty Cycle (デューティサイクル)

Amplitude (振幅) **20v**でよい。

Offset (オフセット) **MN, BN**リモートを使う場合は**±100%**

Phase Angle (位相角) **0**でよい。

Duty Cycleは方形波だけにかかわる設定で他の波形では設定できません。

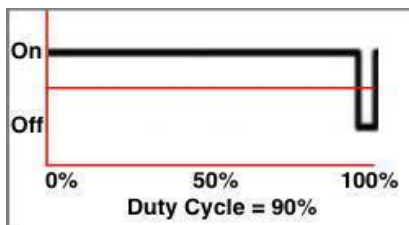
注) コンタクトモードで**Duty Cycle**を**100%**に設定すべきではありません。そうすると電圧が継続的に印加されるために有害です。またリモートモードでも良い影響はありませんので**Duty Cycle 100%**での使用は避けてください。

方形波は奇数倍の高調波を多数含んでいます。**Duty Cycle**を**50%**より多くする高調波の恩恵を受けうることができます。

Duty Cycleの説明

Duty Cycleの値は、方形波の**On, Off**を決定します。

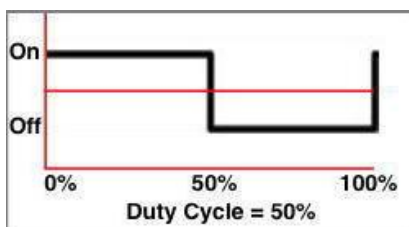
50%は、半分**On**で、後の半分は**Off**です。



方形波の**Duty Cycle**を**50%**より多くすると、第**3**高調波、第**5**高調波、第**7**高調波、第**9**高調波...などの奇数倍の高調波を多く含む波形となります。

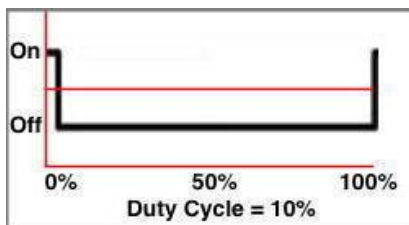
62%, 72%, 81%, 93%の**Duty Cycle**がよいとされています。

左は**Duty Cycle 90%**の例です。



左は**Duty Cycle 50%**の例です。

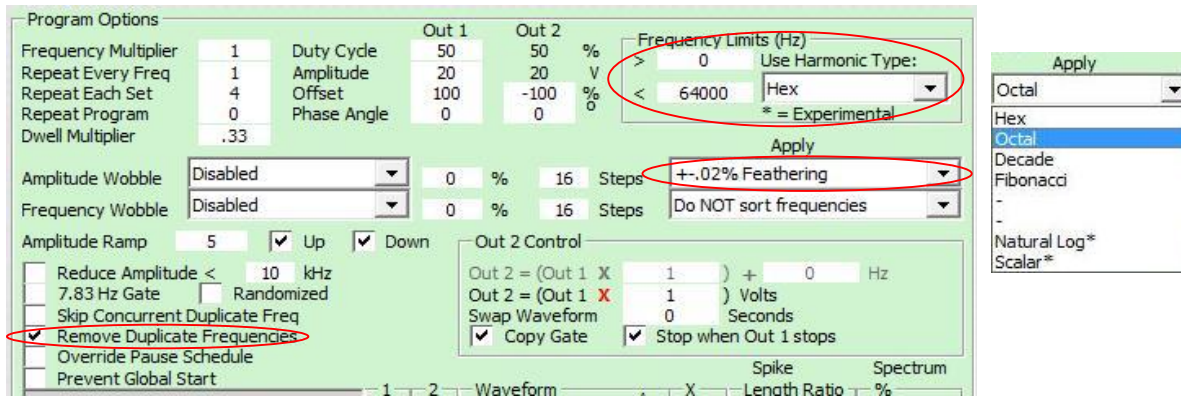
Duty Cycleを**0%**すると、常時**OFF**となり電圧は印加されません。他方**100%**にすると常時**ON**となり電圧がかかり続けます。



左は**Duty Cycle 10%**の例です。

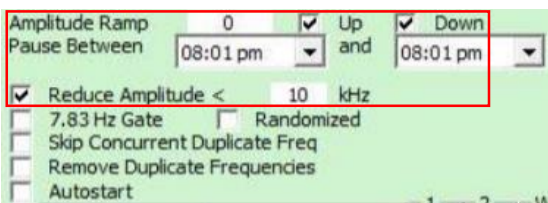
Duty Cycleを**50%**より少なくするメリットはありません。

その他の役立つ設定



Remove Duplicate Frequenciesにチェックをいれて、同じ周波数を持つ周波数セットを除きどう周波数の混信を回避します。

Skip Concurrent Duplicate Freqは、複数のジェネレータを用いるときに同じ周波数の混信を回避するために用います。



Amplitude Ramp
Reduce Amplitude < 10 kHz
はコンタクトモード用の設定です。

Amplitude Rampは、コンタクトモードで電圧の立ち上がり(**Up**)と下り(**Down**)を緩和します。5に設定してもよい。

Reduce Amplitudeは、10kHz以下の低周波の不快なショック(痛み)を除去します。

両方ともリモートモードでは使用しません。

Amplitude Ramp 0
Reduce Amplitude はチェックしない。

Pause Betweenは、ソフトの最新バージョン(2015/11/1)で追加された機能です。
ここで設定した間プログラムを停止(ポーズ)します。

7.83 Hz Gateは、
シューマン共振周波数に合わせて適用周波数を**On**, **Off**します。リモートモードの場合、**LED**の点滅で確認できます。

Autostart
ソフトの最新バージョン(2015/11/1)で以前の**Prevent Global Start**から変更されたものです。**Spooky2**ソフトの起動と同時にプログラムを**On**にし、ジェネレータを動かすとき用います。

Frequency Limits (Hz)

< 64000として64000Hzより下の周波数を64000Hzを超える高調波として使用できるようにします。(ほとんどの微生物の基本周波数は76kHz~880kHzレンジです。)

Use Harmonic Type (使用高調波のタイプ)は、**Hex** か **Octal** を使う。

以下は有用性が実証されている高調波タイプ

Hex (hexadecimal) 16進数

Octal 8進数

Decade 10進数

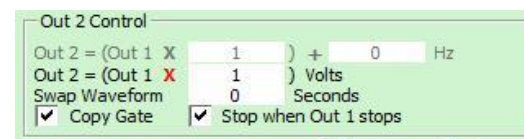
Fibonacci フィボナッチ数(生物の生長パターン)

以下の2つは実験用です。

Natural Log 自然対数

Scalar スカラー

また**+-.02% Feathering**を適用して殺菌の範囲を中央周波数の前後に拡大します。



Out2 Control

最上段部の周波数通倍は、**F2がF1のInverse+Syn**(逆位相同期)となっているときは、フェイドアウトして使えません。

Out2の出力(周波数、電圧)を**Out1**を整数倍しつづける機能です。

コンタクトモードの搬送波やスペクトラムスイープ(**Spectrum sweep**)、コンバージスイープ(**Converge sweep**)などに用います。

Swap Waveformは、**Inverse+Syn**のときに信号の極性を設定した間逆転させます。この極性逆転により、コンタクトモードの電極やコロイドシルバー生成用電極に電氣的付着物付くのを防止します。

Spooky2 8th December 2015 (c) John White

MN, BNリモートを使った解毒(Detox)プログラム
JW-Healing (Remote)を編集して**sk-Healing (Remote)**として保存し活用するサンプルです。
Detox 4 Throughout the Body (CAR)と**Blood Purify 1 (CARL)**の周波数セットを用いています。
 プログラムの各設定を確認してなぜそのようにプログラムしたか考えてください。そうするとプログラム仕方が分かるようになると思います。

Spooky2 8th December 2015 (c) John White

MN, BNリモートを使った殺菌(Killing)プログラムsk-exampleです。
LimomatosisとCancer Tumorsの周波数セットを用いています。
 プログラムの各設定を確認してなぜそのようにプログラムしたか考えてください。そうするとプログラム仕方が分かるようになると思います。

データベースの周波数セットは英語で書かれていますので日本語に翻訳して必要な周波数セットを選ぶ必要があります。そのための実際的な方法は、

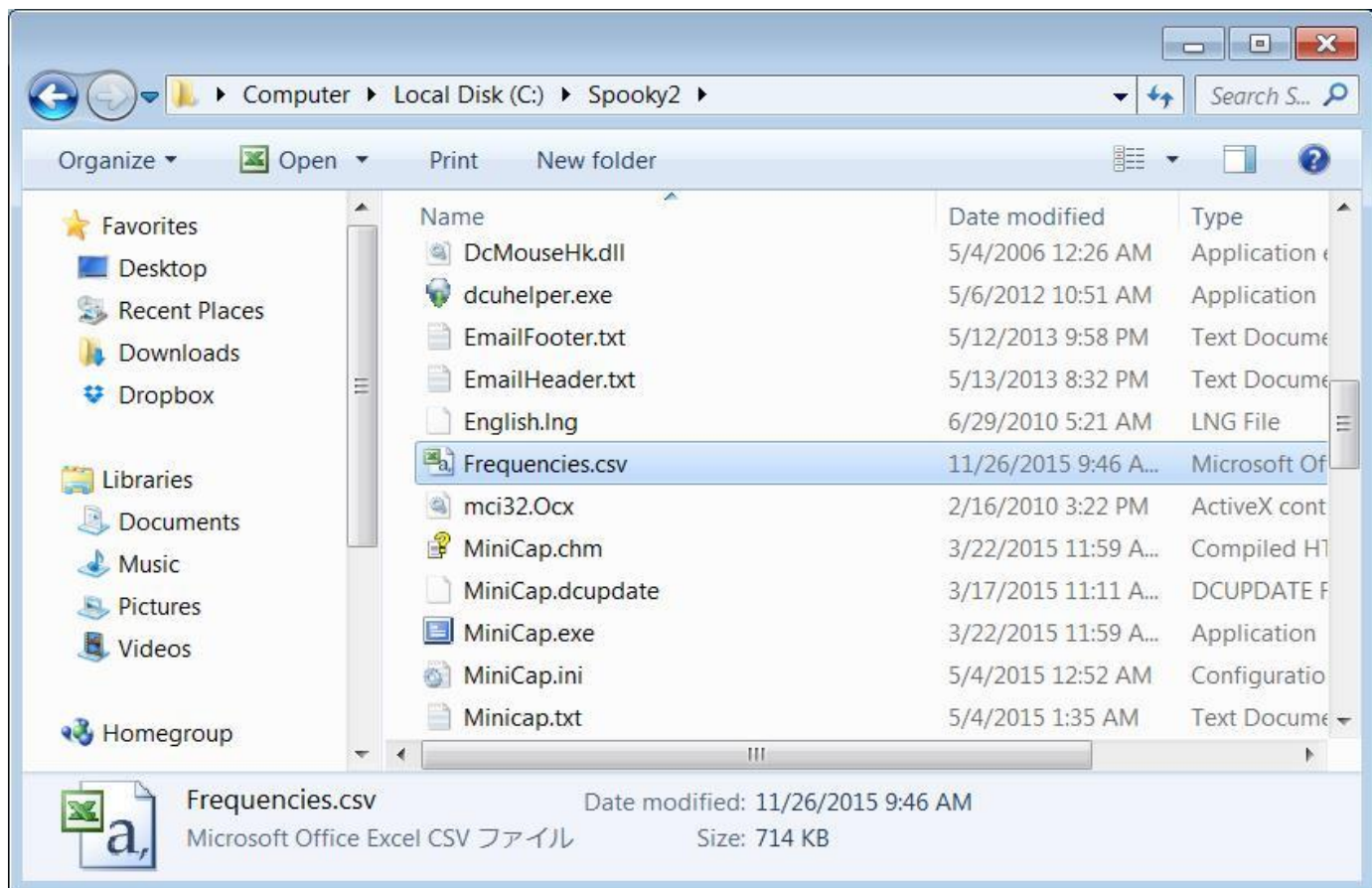
Cドライブの**Spooky2**フォルダー内の**Frequencies.csv**のコピーをデスクトップに作り、エクセルで開いてオートフィルターで検索できるようにしてエクセルファイルとして保存しておくくと便利です。

全ての周波数セットが見れますので翻訳しやすいですし、またオートフィルターで必要な周波数セットを検索して見つけることができるようになります。

オートフィルターでの検索の仕方はエクセルのマニュアルを見てください。

検索では「*」(アスタリスク)活用すると効果的です。

例えば、「**blood***」のように検索すると、**blood**を含む文をすべて拾うことができます。



Microsoft Excel - Frequencies.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

Play Stop To Mp3 Settings

Arial 12 B I U

質問を入力してください

セキュリティ...

A2 Abdominal Cramps

	A	B	C	D	E	F	G	H
1			frequency	set number				single-
2	Abdominal Cramps	XTRA	12	Also see Gastroenteritis and Irritable	72,95,190	Stomach		
3	Abdominal Inflammation	CAFL	52	Also see Gastroenteritis sets.	2720,2489	Stomach		
4	Abdominal Pain	CAFL	20		10000,200	Stomach		
5	Abdominal Pain					Stomach		
6	Abscess Nocardia Asteroides					Respiratory		
7	Abscesses 2					Skin	Sores	
8	Abscesses 3					Skin	Sores	
9	Abscesses Secondary					Skin	Sores	
10	Abscesses					Skin	Sores	
11	Absentmindedness					Brain		
12	Accelerate Healing							
13	Accelerate Injury Healing							
14	Accelerate Learning							
15	Accelerate Scar Healing	XTRA	3	Advance healing of scars.	5,9,			
16	Acidosis	CAFL	24	Increased acidity in blood and tissue.	10000,880	Blood Tissue		
17	Acne 1	CAFL	69	Pimples, white/blackheads, greasy sk	2720,2170	Skin		
18	Acne 2	CAFL	18	Pimples, white/blackheads, greasy sk	760,465,4	Skin		
19	Acne Vulgaris Junior	XTRA	9	Pimples, white/blackheads, greasy sk	514,832,1	Skin		
20	Acne Vulgaris	CAFL	3	Pimples, white/blackheads, greasy sk	564,	Skin		
21	Acne	XTRA	12	Pimples, white/blackheads, greasy sk	727,787,8	Skin		
22		XTRA	20	WDB5. Pimples, white/blackheads, greasy sk	50,270,82	Skin		

オートフィルタオプション

抽出条件の指定:

blood* と等しい

☒ AND(A) ☐ OR(O)

?を使って、任意の1文字を表すことができます。
*を使って、任意の文字列を表すことができます。

OK キャンセル

コマンド

Microsoft Excel - Frequencies.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

Play Stop To Mp3 Settings

Arial 12 B I U

質問を入力してください

セキュリティ...

A2 Abdominal Cramps

	A	B	C	D	E	F	G	H
1			frequency	set number				single-
564	Blood Capillaries Healing	XTRA	3		15,2,			
565	Blood Circulation Sluggish	XTRA	15		9,39,9,4,16,17,40,			
566	Blood Circulation Stimulate Norm	XTRA	3		337,			
567	Blood Cleanser Cancer	XTRA	21	Use for all types of cancer.	727,787,880,2008,2127,5000,10			
568	Blood Cleanser	PROV	18	Use for all types of cancer.	727,787,8	Blood		
569	Blood Clots	XTRA	3	Use with extreme caution.	685,			
570	Blood Clots	XTRA	12	Use with extreme caution.	6,28,59,685,			
571	Blood Coagulation Disorders	KHZ	30		70,520,30000,47500,150000,22			
572	Blood Conduction	XTRA	3	Blood conditions.	3481,			
573	Blood Diseases	CAFL	20		880,787,7	Blood		
574	Blood Flow Increase	XTRA	3		17,			
575	Blood Flukes	XTRA	24	Also see Schistosomiasis and Bilhar	329,419,635,847,867,5516,739			
576	Blood Hemoglobin Production	XTRA	3	Improve blood oxygen transport ability	2452,			
577	Blood Hypertension	XTRA	42	High blood pressure.	6,9,18,9,19,20,65,72,95,304,66			
578	Blood Hypotension	XTRA	21	Low blood pressure.	20,471,5,660,690,727,5,787,880			
579	Blood Plasma Cleaner	CAFL	3		800,	Blood		
580	Blood Platelet Disorders	KHZ	30		10,520,11090,55750,60000,125			
581	Blood Platelet Disorders	XTRA	30	WDB5.	40,520,11090,55750,60000,125			
582	Blood Pressure Balance 1	XTRA	3		10,5,			
583	Blood Pressure Balance 2	XTRA	3		15,			
584	Blood Pressure High Blood Pressure	XTRA	3	WDB5. High blood pressure.	6,9,18,			

6003 レコード中 32 個が見つかりました。

コマンド

辞書を活用して必要な情報を特定してください。